Okamoto

株式会社岡本工作機械製作所
（証券コード：6125）

2025年3月期　決算説明会資料

2025年6月13日

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

Okamoto

アジェンダ

1．2025年3月期決算概況と
　　2026年3月期業績予想
2．2025年3月期TOPICS
3．中期経営計画“INOFINITY700”
　　計画サマリーと進捗状況
4．Si貫通電極ウェーハ全自動研削装置
　　進捗状況

Appendix

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

１．2025年3月期決算概況と2026年3月期業績予想

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

決算サマリ

Okamoto

業績

- ✓ 売上高437億34百万円、営業利益30億15百万円
- ✓ ユーザーの生産調整による投資計画の先送りなどから、半導体関連装置の売上が前年に比べて大きく減少

受注実績

- ✓ 半導体受注は低調だった前期を上回る
- ✓ 工作機械の国内受注は中小企業での投資鈍化などを受け前期を下回る
- ✓ 海外では米国は企業の投資意欲が増加し前期を上回る受注
- ✓ 欧州はウクライナ情勢など不透明感強く停滞
- ✓ 中国は景気減速の影響から受注減少

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

市場概況

■国内市場

- 工作機械は中小企業の投資鈍化や金型業界向けの平面研削盤、ロボット向け歯車の需要が低迷、受注・売上とも前期を下回る
- 半導体はパソコン・スマートフォン向けの設備投資需要は低迷も、在庫調整正常化に向け次世代パワー半導体、高周波通信デバイス向けの半導体ウェーハなどでは一部需要回復、グラインダ、ファイナルポリッシャーの受注を獲得

■海外市場

- 北米市場は9月以降の金利引き下げやトランプ2.0への期待から企業の投資意欲向上、受注は前期を上回る
- 欧州は前期受注のEV関連向けの大型平面研削盤などに支えられ売上は前年を上回るも、受注はウクライナ情勢の長期化など不透明感強くわずかに前年に届かず
- 中国では政府による消費財買い替え政策を背景に家電関係で小型成形研削盤の受注あるも、景気減速の影響大きくEV関連向けを中心に新規受注が伸び悩み、売上・受注とも前期を下回る
- 半導体は東アジアの次世代パワー半導体、高周波通信デバイス向けの取引先からグラインダ、ファイナルポリッシャーの受注を獲得

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

業績ハイライト

（単位：百万円）

	2024年3月	2025年3月	
	金 額	金 額	前期比増減率
売上高	50,198	43,734	▲12.9%
売上総利益	15,527	12,828	▲17.4%
販売費及び一般管理費	9,393	9,812	+4.5%
営業利益	6,133	3,015	▲50.8%
経常利益	6,284	2,916	▲53.6%
当期純利益	4,556	2,024	▲55.6%

※小数点第２位を四捨五入

（単位：百万円）

	2024年3月	2025年3月
	金 額	金 額
設備投資額	2,982	3,923
減価償却費	1,834	2,082
研究開発費	283	132

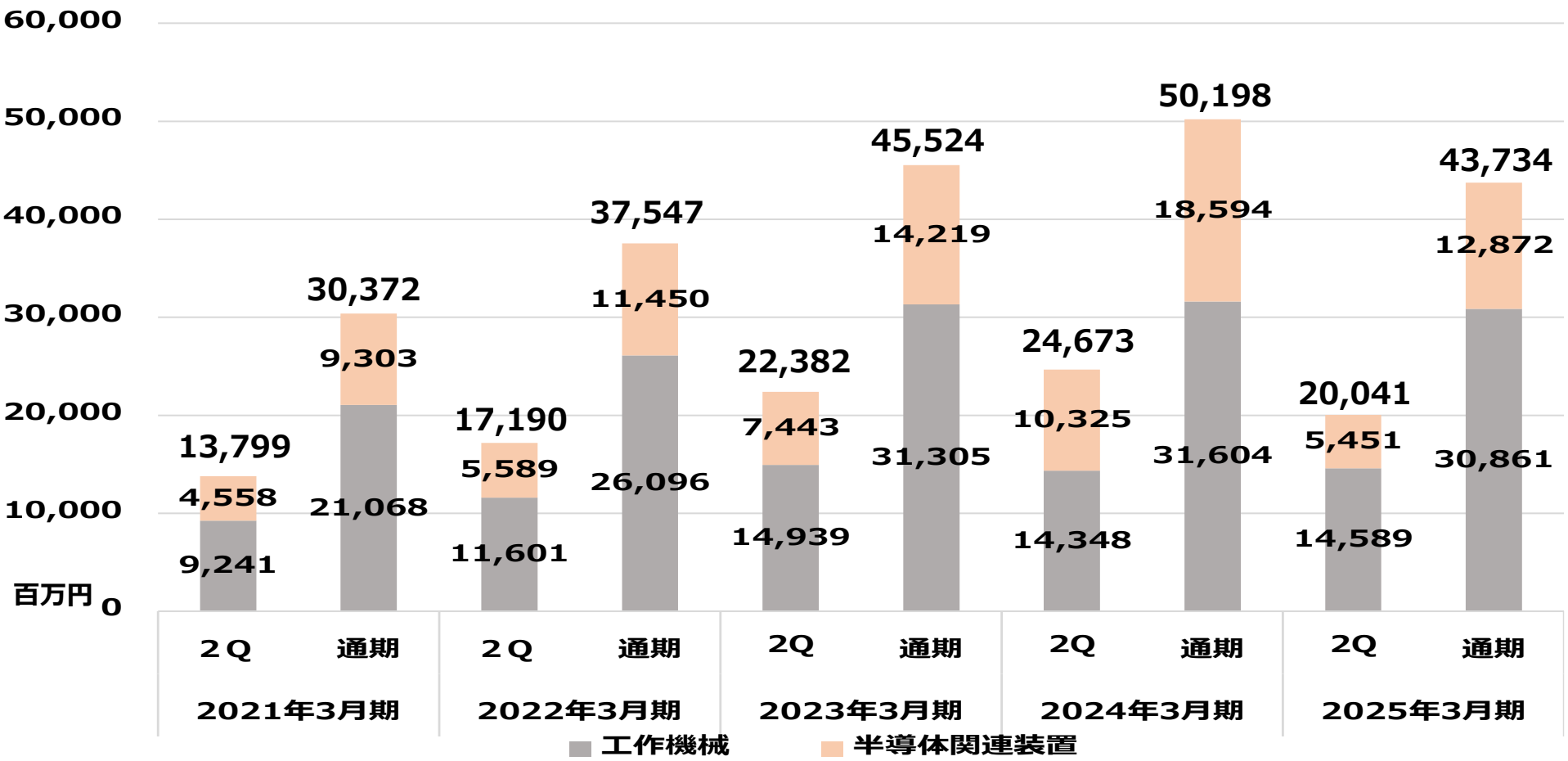
為替レート	2024年3月	2025年3月
米ドル	145.31	152.57
シンガポールドル	108.03	113.98
ユーロ	157.72	163.66
タイバーツ	4.12	4.40
人民元	20.20	21.12

※期中の平均レートで記載しております。

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

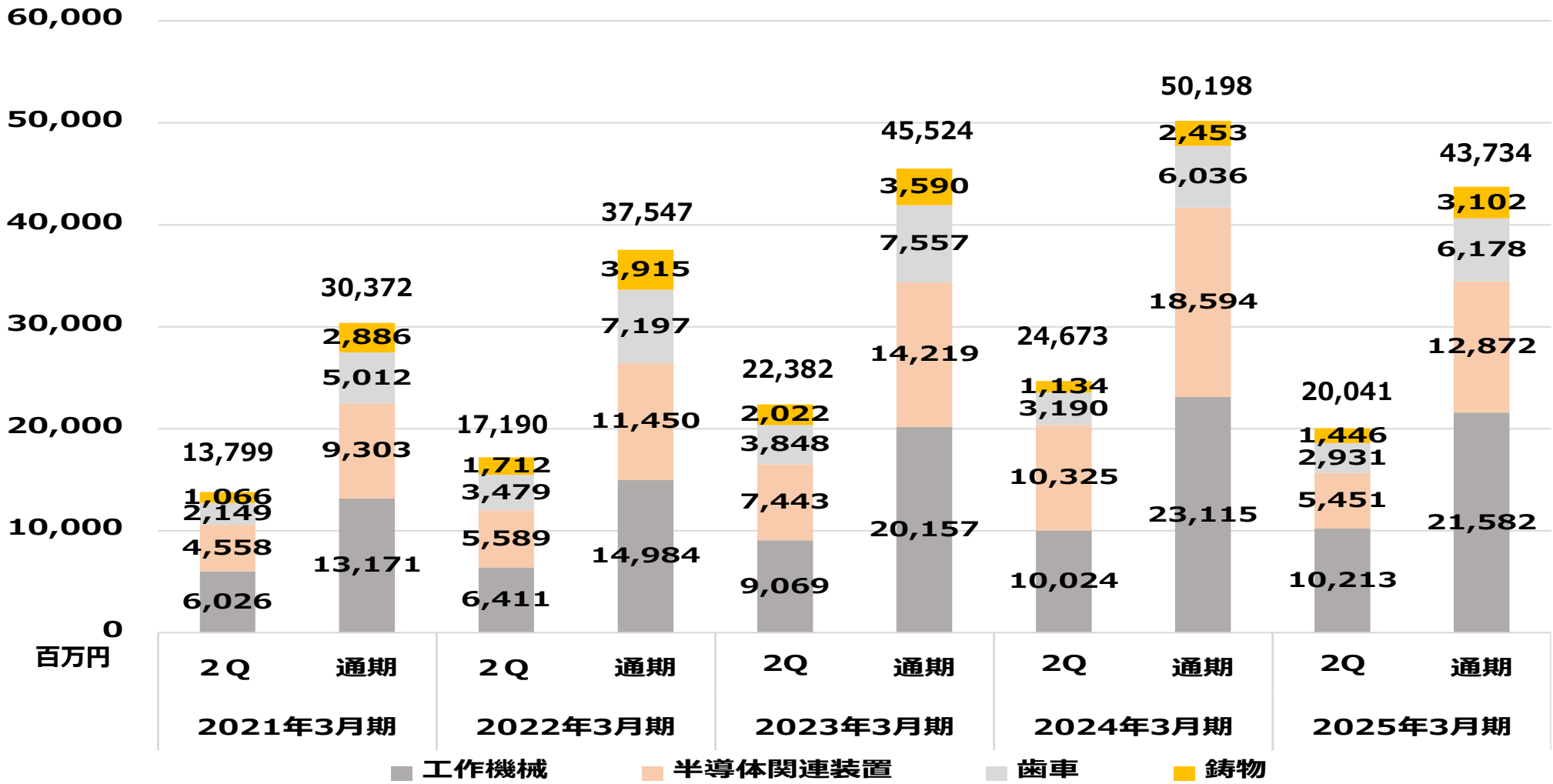
セグメント別売上高推移①

ユーザーの生産調整による投資計画の先送りなどを受け半導体関連装置の売上が減少



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

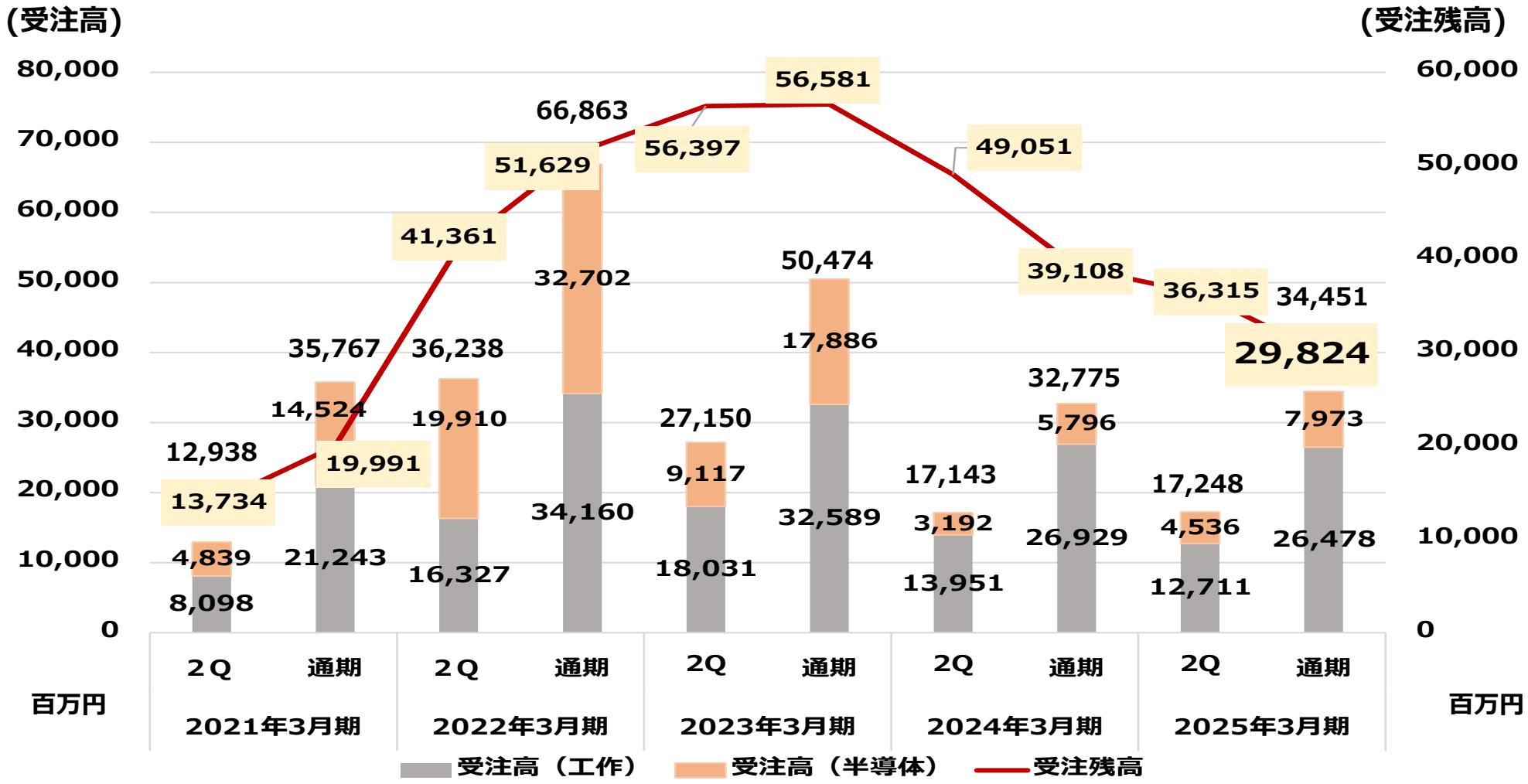
セグメント別売上高推移②



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

受注・受注残高

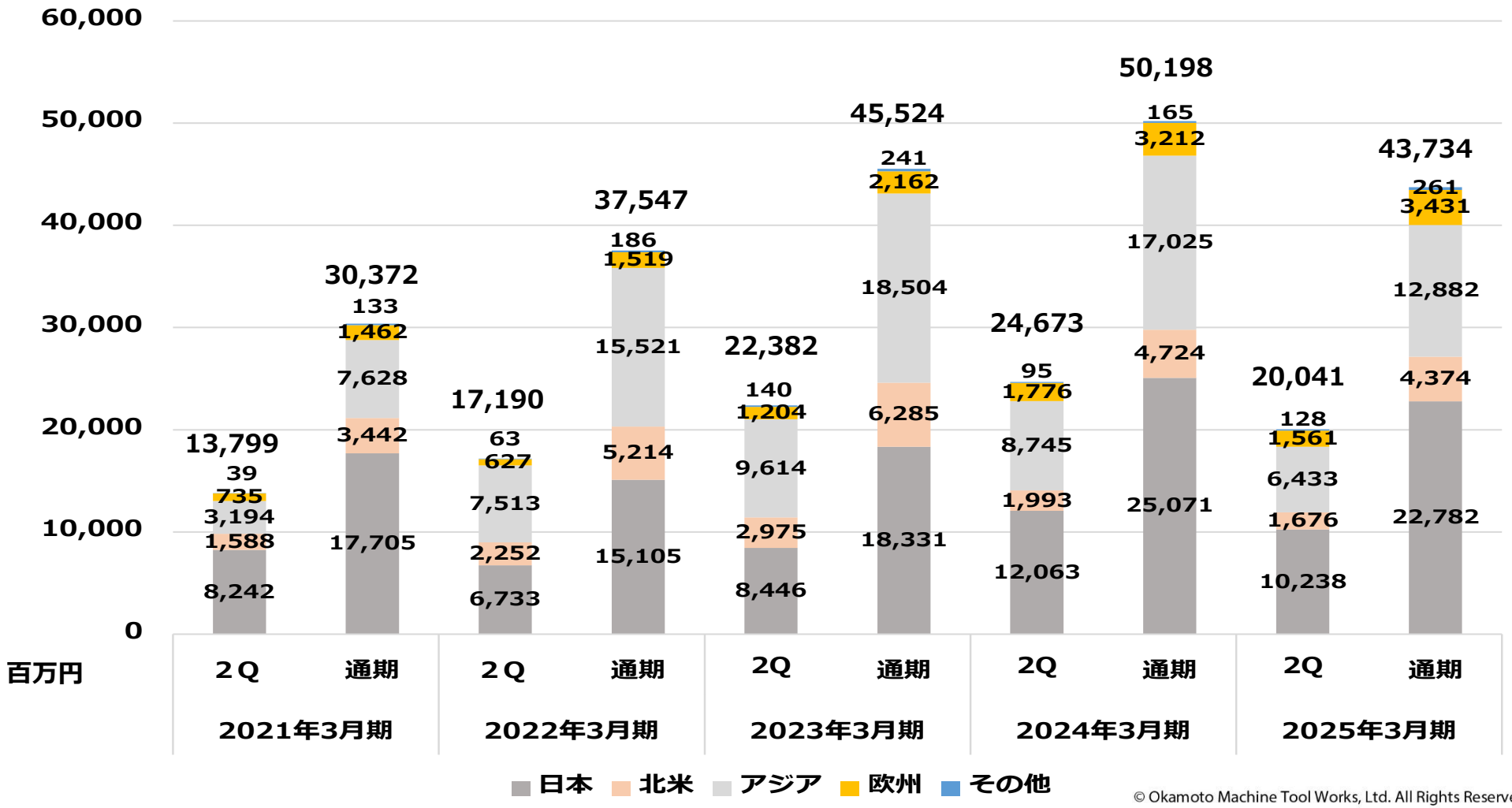
半導体関連装置の受注は前年同期を上回る水準



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

エリア別売上高推移

中国においてEV関連向けの大型平面研削盤の販売が減少



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

比較貸借対照表

Okamoto

（単位：百万円）

		2024年3月	2025年3月	
		金 額	金 額	対前期末比
流動資産		42,564	47,214	+4,650
	現金及び預金	11,895	9,899	▲1,996
	受取手形及び売掛金	12,318	11,156	▲1,162
	その他	18,350	26,159	+7,809
有形・無形固定資産		15,315	17,350	+2,035
投資等		2,284	2,239	▲45
資産合計		60,164	66,804	+6,640

（単位：百万円）

		2024年3月	2025年3月	
		金 額	金 額	対前期末比
負債合計		30,187	26,241	▲3,946
	流動負債	23,982	19,874	▲4,108
	固定負債	6,205	6,366	+161
純資産合計		29,977	40,563	+10,586
負債資本合計		60,164	66,804	+6,640

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

比較キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

		2024年3月	2025年3月	
		金 額	金 額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		929	▲2,112	▲3,041
	税引前当期純利益	6,640	2,812	▲3,828
	減価償却費	1,834	2,082	+248
	売上債権の増減（▲は増加）	▲3,064	1,167	+4,231
	棚卸資産の増減（▲は増加）	1,055	▲484	▲1,539
	仕入債務の増減（▲は減少）	▲16	▲3,107	▲3,091
	その他	▲5,519	▲4,582	+937
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲3,634	▲5,095	▲1,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,237	10,493	+9,256
換算差額		509	17	▲492
現金・現金同等物残高		11,418	14,722	+3,304

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

2026年3月期業績予想

**2026年3月期は増収増益、V字回復達成に向け海外販売を強化し、
一方で抜本的なコスト構造の見直し（＊）に着手、利益率向上を期す**

（単位：百万円）

	2025年3月	2026年3月（予想）	
	金 額	金 額	増減率
売上高	43,734	50,000	＋14.3%
営業利益	3,015	4,800	＋59.2%
経常利益	2,916	4,700	＋61.1%
当期純利益	2,024	3,000	＋48.2%

＊　コスト構造の見直し

- ✓ 工作機械事業を中心とした戦略機種の単価設定・拡販施策の見直し
- ✓ 購入部品・製作品のグローバル調達の促進
- ✓ 生産拠点での生産性向上
- ✓ 内製化率の向上による外注費率の抑制　など

（単位：百万円）

	2025年3月	2026年3月（予定）
	金 額	金 額
設備投資額	3,923	5,252
減価償却費	2,082	2,106
研究開発費	132	121

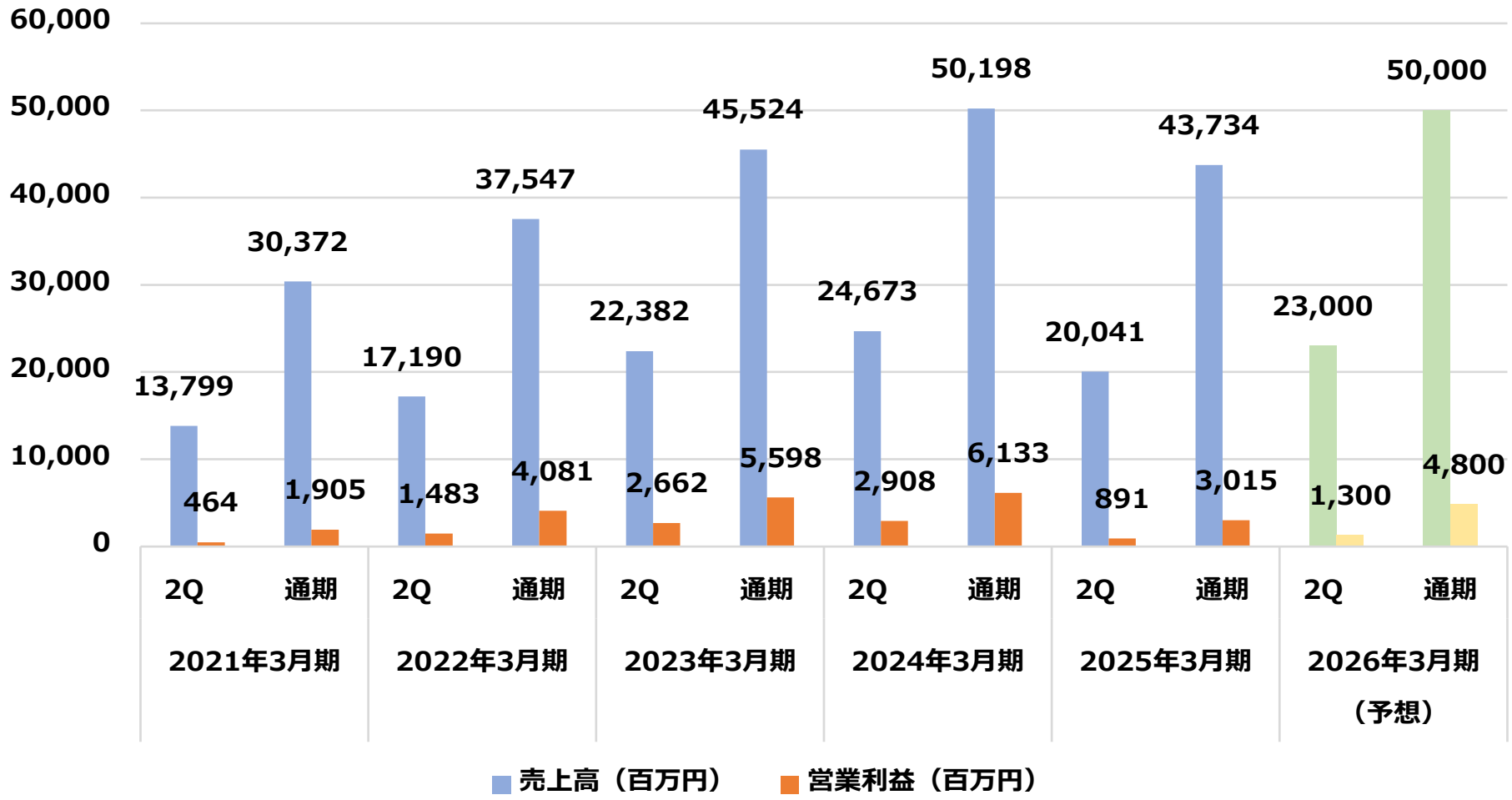
為替レート	2025年3月	2026年3月（計画）
米ドル	152.57	145.00
シンガポールドル	113.98	109.00
ユーロ	163.66	157.00
タイバーツ	4.40	4.20
人民元	21.12	20.40

※期中の平均レートで記載しております

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

業績推移

基本的に下期に比重がかかる傾向



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

米国関税措置などトランプ2.0の影響について

- ✓ 追加関税の影響で2025年4月以降、引き合いは減少。関税交渉の進捗など今後の動向を注視
- ✓ 前期好調だったEV関連は設備投資が慎重に。一方、航空宇宙・防衛関連の引き合いは堅調
- ✓ 中長期的には米国が製造業回帰の方向に向かうなか、米国に競合は少なく、総合砥粒加工機メーカーとして競争力を持つ当社には追い風となる可能性も

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

2．2025年3月期 TOPICS

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

三井物産と資本業務提携

2030年に「ありたい姿」を検討。2023年11月、中長期戦略「ビジョン2030」を発表
中長期戦略の達成に向け5月に三井物産と資本業務提携を実施

長期ビジョン

世界に類のない「総合砥粒加工機メーカー」として、平面研削盤・半導体ウェハ研磨装置でグローバルNo.1を目指す

財務目標

連結売上高：700億円
ROE:17～18%
連結営業利益率：16%
連結配当性向：45%以上

三井物産との資本業務提携を目標達成の大きな力に

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

提携で期待するシナジー

今後の成長に向けてシナジーを追求

	工作機械事業	半導体関連装置事業
販売	• 新規顧客・未開拓地域の市場開拓（米国、インド市場を始めとした海外での拡販：米Ellison Technologies Inc.等との連携）	• 既存顧客とのリレーション強化 • 新規顧客の開拓（特に次世代半導体材料のユーザー開拓：米国市場、欧州市場）
調達	• 調達連携によるコストダウン • 新規調達チャネルの開拓 • 長納期部材等に対する購買力の強化	
開発	• 先端動向等の情報収集を強化し、開発戦略及び販売戦略の軌道修正を迅速化 • 成長投資による開発促進 • メカ以外の分野（材料/素材/プロセス/関連部材等）における知見の活用によるソリューションの最適化、およびアライアンスの促進 • 知的財産管理・活用の強化	

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

Ellison Technologies,Inc.との提携強化

2024年9月　当社の100%子会社Okamoto Corporation（本社イリノイ州）は三井物産の100%子会社Ellison Technologies,Inc.（本社カリフォルニア州）と米国における当社工作機械及び半導体関連装置の販売強化に向けて覚書を締結

工作機械　→　高付加価値製品の販売体制を強化

半導体関連装置　→　化合物半導体関連の顧客開拓を推進

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

＜ご参考＞　米Ellison Technologies, Inc.

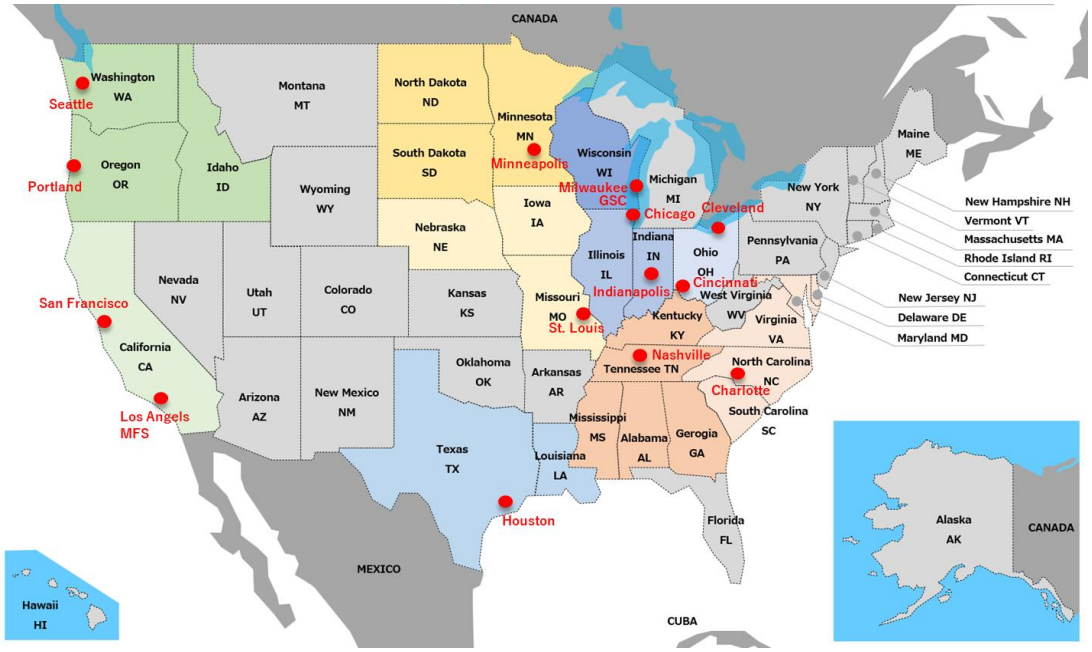
会社概要

会社名	Ellison Technologies, Inc. (略称: Ellison)
事業内容	工作機械等の販売及びサービス
創立	1955年
売上高	338million USD(2024年3月期)
人員	392名(2024年10月末日時点)
株主	三井物産100%

特徴

1．工作機械の販売会社として全米最大手の一角
2．DNS代理店として世界No.2
3．機械単体売りではなく、Turnkey Solutionを提供
4．幅広い産業、大手から町工場までをカバー

販売地域　(26州で事業展開)



● Ellison支店所在地

出所：三井物産提供資料より

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

半導体関連装置事業　ショールーム・技術開発棟に係る不動産購入

2024年9月30日　利便性の高いさいたま市にショールーム・技術開発棟に係る不動産を取得
2025年3月に先方設備を搬出、当社への引き渡しを終了
取得・改修費用などは昨年5月第三者割当増資で調達した9,806百万円から充当

群馬県安中市
岡本工作機械製作所本社

ショールーム・技術開発棟
埼玉県さいたま市

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

ショールームの早期運用開始

計画を前倒しして、ショールーム・技術開発棟は今下期からの運用を目指す

		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
事業計画期間			ビジョン2030					
			新中計期間					
売上		186億				270億		300億
機種開発	ポリッシャ		新機種開発／段階的な市場投入					
	グラインダ							
当初 ショールーム			ショールーム整備	運用				
当初 技術開発棟				技術開発棟建設	運用			
変更後 ショールーム			ショールーム整備	運用				
変更後 技術開発棟			技術開発棟整備	運用				

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

３．中期経営計画“INOFINITY700”
計画サマリーとその進捗

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

INOFINITY700　ロゴと名称の由来

名称は社内公募で決定
中計期間は2024年4月～2028年3月（4ヶ年計画）
「ビジョン2030」からバックキャストして目標・施策を策定

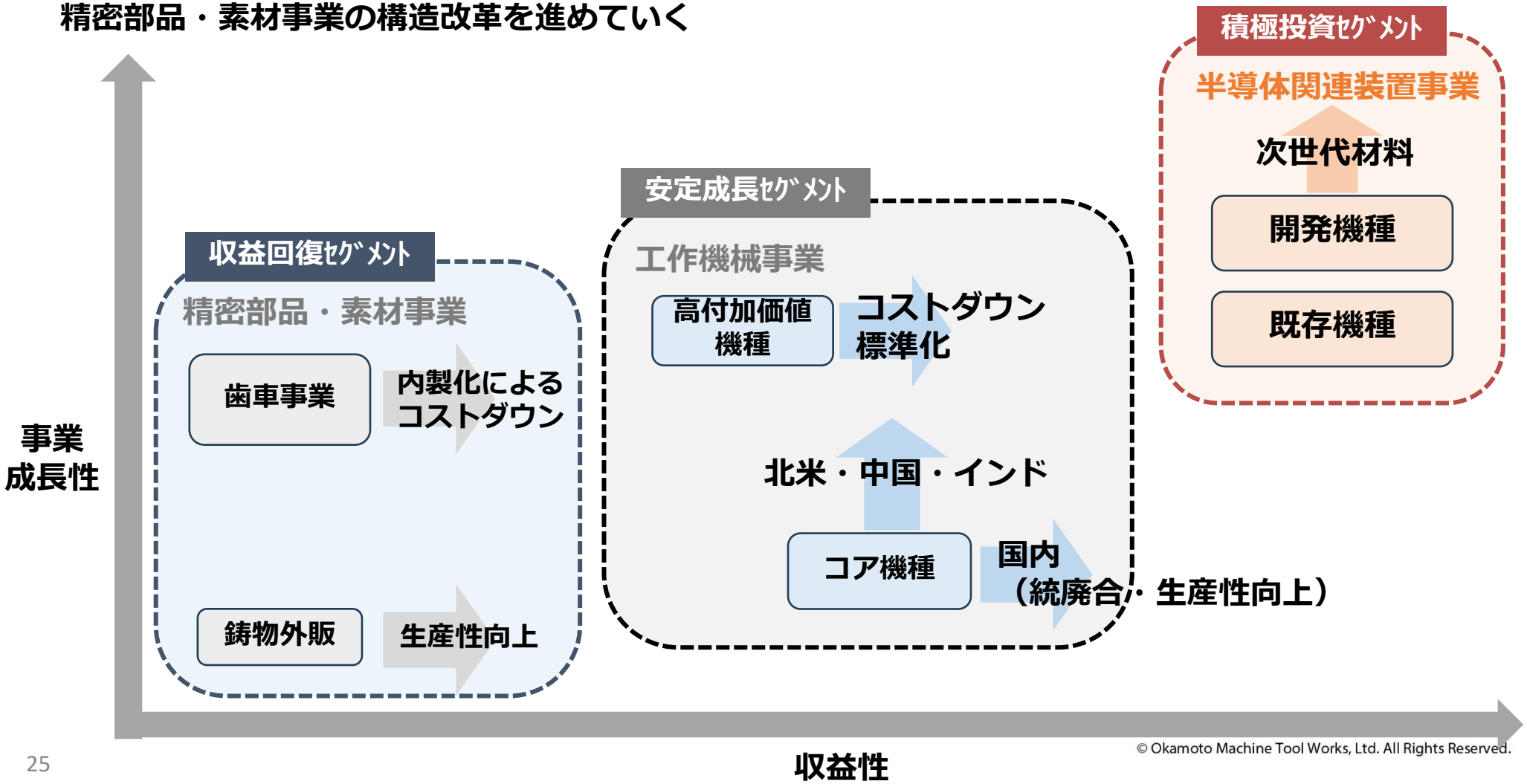
700
INOFINITY

＊　INOFINITY　Innovation（革新）とInfinity（無限）を掛け合わせた造語
＊　700は「ビジョン2030」の目標　売上高700億円から

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

中長期戦略　事業ポートフォリオ

- 中長期戦略では半導体関連装置事業を積極投資セグメントとして位置付け、次世代材料領域にて事業拡大を図る
- 工作機械事業では、収益性の高いコア機種での成長を図るとともに、高付加価値機種へのテコ入れ、精密部品・素材事業の構造改革を進めていく



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

半導体関連装置事業　中計戦略骨子

Okamoto

半導体関連装置

Ⅰ.成長投資の検証・実行管理
（成長投資の実行と管理）

Ⅱ.半導体関連装置事業の収益力維持・向上
（先行開発、新市場開拓・シェア拡大の中で最大限採算を維持・向上、BwithBの推進）

① Siウェハ向けポリッシャのシェア維持

・従来機に対し更なる生産性向上を実現する機種開発
・中国アフターサービスの充実
・国内テクニカルセンターの最大活用等

② 次世代機種の新規開発

・Siウェハ加工プロセス高度化対応、パワー半導体(SiC, GaN)、通信デバイス向(LT/LN)ウェハ対応のポリッシャ並びにグラインダの開発（競争力のある製品開発）

③ 半導体装置に関連に関連した技術開発棟の新設、ショールームの刷新

・技術的な要求に対する実証試験を通した受注確度の向上、並びにデモ機での設計・製造品質の作りこみ

④ 設計・製造キャパシティの強化

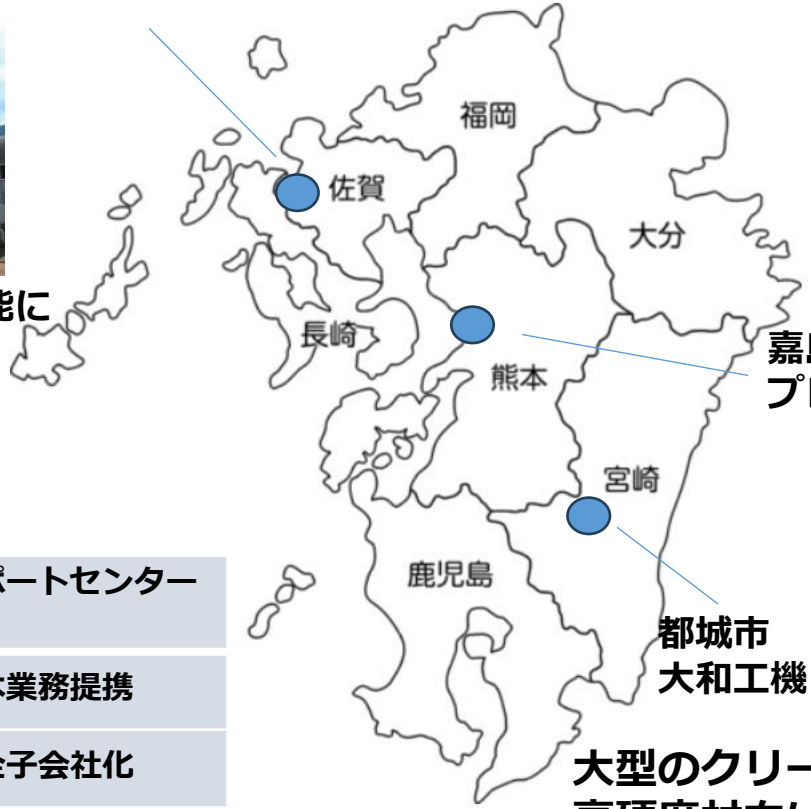
・投資含め、売上300億円を支える生産体制の構築
・九州テクニカルセンターによる売上拡大
・必要人員の増員、必要フロアの確保

半導体関連装置事業　生産体制強化　九州地区半導体関連拠点

前中期経営計画期間の施策で半導体産業の一大集積地となる九州で拠点を確保
計画に沿って生産体制を強化中

伊万里市
九州テクニカルサポートセンター

お客様のサポートをより近くで可能に
パーツ対応やメンテナンスを担当



半導体分野での自動化に実績

嘉島町
プレシード

2023年5月	九州テクニカルサポートセンター開設
2023年5月	プレシード資本業務提携
2023年11月	大和工機　完全子会社化

都城市
大和工機

大型のクリーンルームを活用し、
高硬度材向けグラインダーの生産体制を構築中

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

工作機械事業　中計戦略骨子

工作機械

Ⅰ. 成長市場での市場シェア拡大
（中国・アメリカでの売上拡大、インド市場開拓）

Ⅱ. 工作機械事業の収益力改善
（機械本体収益改善、BwithB推進）

① 機械採算管理・売価見直し

グローバルでの機種別採算管理と、機種統合・再構築（値付け・開発含め）を推進。また、価値に応じた適正価格を追求

② コア機種拡販（海外/国内）

コア機種である平面研削盤を中心とした、北米・中国・インド展開。市場に適応した機種の拡販を進める

③ VE・設計標準化

過去の低採算機種の分析を踏まえ、標準化を徹底していく。また、新機種開発の中でVE推進し、既存機種へ展開しコスト低減を図る

④ 国内生産・サービス強化投資

生産革新（OPS・直送化等）による品質向上・コスト低減、自動倉庫投資含めたBwithBの推進

l Rights Reserved.

精密部品・素材（歯車・鋳物（外販））事業　中計戦略骨子

精密部品・素材（歯車・鋳物（外販））

Ⅰ.歯車事業 安定収益体制構築
（事業の幅を横に広げながら、内製化推進・組織強化を図る）

Ⅱ.鋳物事業モノづくり改善/外販推進
（収益改善に向けた不良率低減・生産性の向上）

①　【歯車】高付加価値製品の拡販

強みを生かした高付加価値製品の拡販/技術向上を通し、業界内でのポジションを高め、より安定した売上を確保できる体制を構築する

②　【歯車】府中第二工場（新工場）での内製化推進

新工場投資により増加した生産キャパシティの有効活用（内製化）　・高い生産性の実現

③　【歯車】安定した収益を確保できる体制の構築

採算管理・計数管理体制の強化と、先回りした施策実行（価格コントロール等）

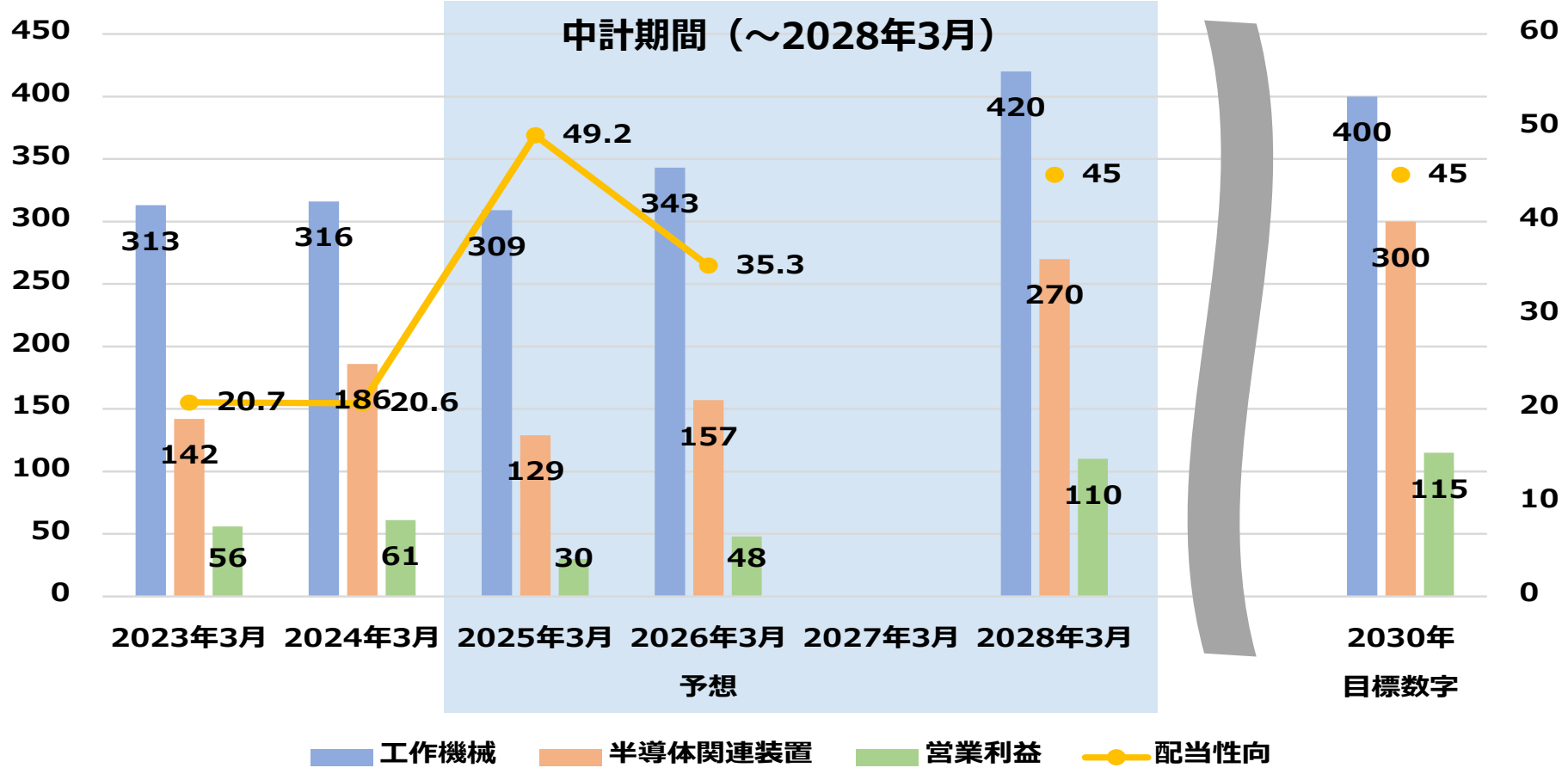
④　【鋳物(外販)】生産体制強化・外販推進

安定品質・安定生産を実現するための技能伝承及び、人員採用。特に木型の開発、生産技術のレベルを維持・向上させていく体制づくり／新規顧客の開拓による売上高の拡大（外販）

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

新中計数値目標

2028年3月期に「ビジョン2030」で掲げた数値目標水準への到達を目指す
また、配当性向30%目標を見直し、2028年3月期45%の配当性向を目指す
2025年3月期には自己株取得も実施



© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

Okamoto

４．Si貫通電極ウェーハ全自動研削装置

JST研究成果最適展開支援プログラム開発成功

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

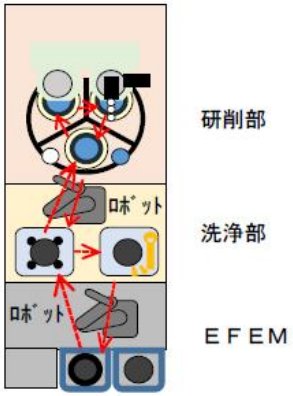
Si貫通電極ウェーハ全自動研削装置

2016年10月にJSTの研究成果最適展開支援プログラムとして開始され、2024年7月にかけ当社にて実用化開発を進めていた「Si貫通電極ウェーハ全自動研削装置」
2024年10月29日　JSTより開発成功認定を受けたことをJST/当社にて発表

半導体回路の性能向上はこれまでムーアの法則に沿い限りなく微細化を突き詰めてきたが、
それも限界に近づき、回路を平面ではなく立体として集積する積層化（3次元実装）が模索されている

ただ、コストの問題や歩留まりの低さが制約となり一部の高機能デバイスでしか実用されていなかった

本開発の成功によりビアミドルSi電極形成プロセスが効率化され、接続電極を用いない直接積層が可能に



今回開発した装置

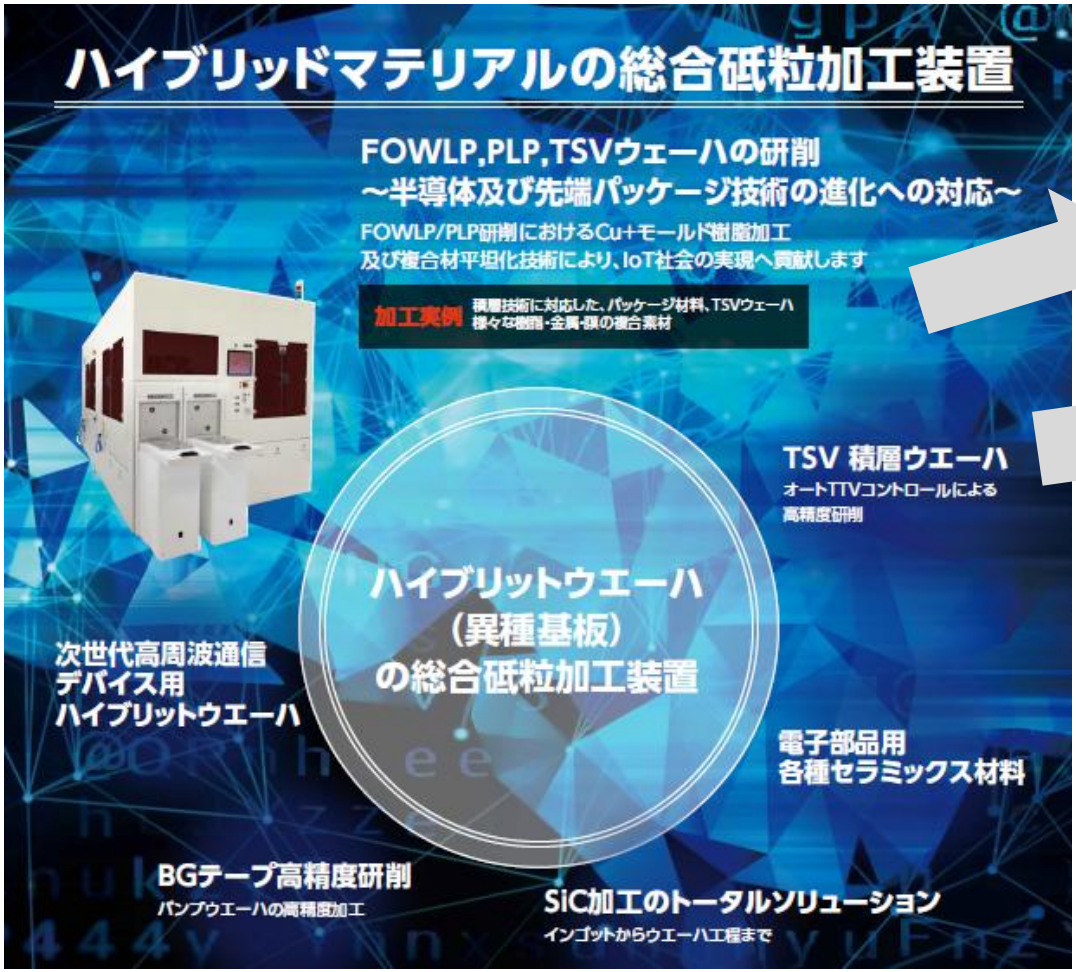
今後は、デバイスメーカーとの協業を通じ、
ハイエンド用だけではなく、
- 普及著しいIoT用
- AI（人工知能）用

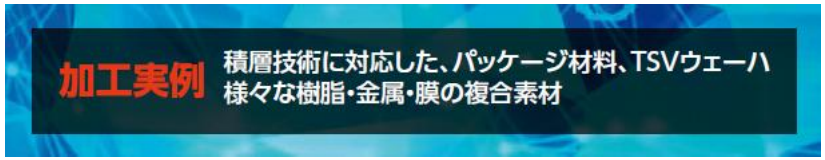
など、様々なデバイスへの適用を模索・検討

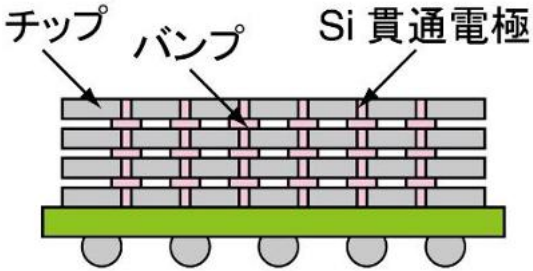
© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

SEMICON JAPAN2024　出展

2024年12月11日～13日　SEMICON JAPAN2024に出展
「まっ平をつくる」半導体製造装置のウェーハ用グラインダー
「原子レベルでの無欠陥表面品質を作る」ポリッシャー　に強みを持つ当社の、
高硬度材（炭化ケイ素、窒化ガリウム）に対する加工技術・積層化領域での技術の優位性を訴求







3次元実装した回路のイメージ

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

Okamoto

Appendix
（ご参考資料）

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

世界唯一の総合砥粒加工機メーカー

会社概要

会社名 英文	株式会社　岡本工作機械製作所 Okamoto Machine Tool Works, Ltd.
創業	大正15年11月
設立	昭和10年6月
資本金	97億8,370万円
本社所在地	〒379-0135　群馬県安中市郷原2993番地
事業内容	【工作機械・半導体関連装置の製造・販売】 工作機械事業（平面研削盤・成形研削盤・内面研削盤・円筒研削盤・ 歯車研削盤・専用研削盤・精密歯車・鋳物） 半導体関連装置事業（ｸﾞﾗｲﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾏｼﾝ・ｽﾗｲｼﾝｸﾞﾏｼﾝ・ﾎﾟﾘｯｼﾝｸﾞﾏｼﾝ・ﾗｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼﾝ・ｶﾞﾗｽ基板研磨装置）
従業員数	連結: 2,259名　単体: 484名　　※2025年3月末現在

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

国内拠点、海外拠点

生産・販売拠点	
国内	15拠点
北米	4拠点
欧州	3拠点
中国	4拠点
アジア	3拠点

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.

Okamoto

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社　岡本工作機械製作所
総務部
TEL　027（385）5800

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料は、株式会社岡本工作機械製作所（以下、当社）をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

© Okamoto Machine Tool Works, Ltd. All Rights Reserved.